



謹んで新年のご挨拶を申し上げます
関係者各位におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます

石川県農業法人協会
会長理事 佛田利弘

いしかわ 農業法人だより



年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。まずは、平素より会員、賛助会員、アグリサポート会員をはじめ、農水省及び石川県、市町の関係各位には、協会運営に際して多大なるご尽力とご協力を賜り心から御礼申し上げます。さて、新型コロナウイルス感染症が蔓延しはじめて2年が経過しました。農産物の需要の偏在が顕著になり、コメをはじめとして価格が大きく下落しています。野菜の価格においては、過去30年ほとんど維持されたままで、農業経営は規模拡大や合理化等により経営維持してきました。しかし、ここに来て、飼料用穀物や肥料の高騰等により生産原価を大幅に押し上げることとなり、農業経営の継続に大きな不安材料がのしかかってきました。メディアによると日本国民1人あたりの所得は韓国が上回り、パートタイマーの賃金は、欧州の半分以下とも言われています。このようなデフレ状況をどのように打開していくのか、重要な状況となっています。

ステークホルダーとの「対話と実践」

地域社会では、多様な人々の暮らしや仕事があり、その中に農業農村が存在しています。農業はその主軸であり、農業以外の関係者との「対話と実践」が自らの地域や経営を発展させる源泉であり、豊かで美しい地域を後世に持続させることが大きな意味と価値を持つと考えています。

みどりの食料システム戦略の実践

価格の低迷は、見方を変えれば、明確な価値を消費者に伝えていないとも言えます。価値が少なければそれを創造することにより消費者の生活に踏み込んだ社会生活の変容に関わることが求められています。温暖化対策や環境配慮、GAPやHACCPなどの見える化などは必須になってゆくと考えます。それに伴い、働き方改革が進まなければ優れた人材の育成及び雇用は難しくなります。

存在意義のある自律的農業経営への取組

農業は、他産業と比較して生産性があまり高くないことや天候に左右されることから、経営の収支が不安定且つ低迷している状況にあるために、農業政策の支援が講じられています。

先進国では商工業と農業の付加価値ギャップが大きいため、やむを得ない側面があることは周知の事実です。

しかし、この政策的支援を当然とは思わずに農業の自律的経営を実現してゆくことは、永遠の課題でもあります。

我々の農産物を買いたい求める消費者が、その農産物を通して、我々の存在に価値を感じてくれるか否かを意識することが重要です。消費者に求められている農業経営とは何か、既往の支援策を前提に置かず、自律経営を志向する必要があると思えます。

結びに

このような視点を基に、我々の取組を求められる形に変容させ、次代の食と農と地域の発展に寄与する事業を当協会として微力ながら取り組んで参りたいと考えています。各委員会の具体的な課題や情報交換を通じて、会員内外の親睦が更に深まることを望んでいます。新春1月7日には、コロナウイルス感染症対策を講じた中で賀詞交歓会を実施することと致しました。皆様にはご多用とは存じますが、是非ともご来駕頂き、ご挨拶申し上げます。本年は、地域や消費者、関係各位の皆様、我々農業者にとって良い1年でありますよう心よりご祈念申し上げます。

関係機関と意見交換を実施

新型コロナウイルスの影響により、農業経営が一層厳しくなったことを踏まえ、各関係機関と意見交換を実施した。話題の中心は「コメ余り需要に合わせた生産は更なる改革が必要とさせるようだ。」(有)フアーマーの宮崎代表は「担い手がいない状況の中、今後は地域の垣根を超えた連携が非常に重要になる。」という。協会では引き続き、このような機会を設ける。

更なる低コスト化を

技術経営委員会では令和3年11月2日、耕起作業の効率化を図る目的で志賀町にてプラウ耕の実演会を実施した。今回のデモ機はヤンマーアグリジャパンのYT472Cにスガノ農機の浅耕プラウを装着した。これにより、圃場条件によるが高速での作業が可能となる。

また、同年12月9日にはドローンに関する勉強会を開催。県内各法人から、現在使用するドローンの特徴等について報告された。技術経営委員会の濱田委員長は「農業生産の低コスト化に向けて高速作業化は大きな課題として取り組んでいかなければならない。また、ドローン等は今後の作物においてもラストアイテムとなってくる。引き続き勉強会を開催していききたい。」と来年度も活動を充実させていく方針だ。



協会ホームページを

リニューアル

広報活動委員会は今年度事業として進めていたホームページのリニューアルが12月初頭に完成した。広報活動委員会の林委員長は「ホームページのリニューアルに伴いFacebookページも開設した。関係者各位に協会の情報を共有し活動を更に活発化させた。」と関係者への閲覧を呼び掛けた。

新春賀詞交歓会を

対面で開催予定

協会では1月7日(金)に新春賀詞交歓会を2年ぶりに対面で開催することを決定した。開催にあたり、富山県の(有)アグリゴールド矢木の矢木龍一代表取締役の講演が予定されている。

